

## 高知県金融経済概況

### 【概 論】

高知県の景気は、回復している。

前回の概況公表時（8月上旬）以降の県内景気をみると、労働需給が引き締まり傾向にあり、雇用者所得も緩やかな増加基調にあるもとの、個人消費は持ち直している。観光も基調としては持ち直している。公共投資は緩やかに増加しているほか、設備投資は高水準で推移しており、住宅投資は基調としては増加している。製造業の生産は横ばい圏内の動きとなっている。

先行きについては、企業・家計の両部門において、所得から支出への前向きの循環が続くもとの、回復が続くと考えられる。もっとも、①海外経済を起点とした県外需要の動向、②人手不足の影響、③これらを踏まえた企業・家計の中長期的な成長期待等の影響について、注視していく必要がある。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別の動向

公共投資は、緩やかに増加している。

発注の動きを示す公共工事請負金額をみると、8月は前年を上回って（19/8月前年比：+12.1%）おり、年度初来累計額（8月までの累計）も前年を上回っている（年度初来累計前年比：+40.1%）。また、公共工事の出来高は、過年度の公共工事予算の執行が進むもとの、緩やかに増加しているとみられる。

設備投資は、高水準で推移している。

2018年度の設備投資額（19/6月短観ベース）は、製造業では、大型の能力増強投資やBCP関連投資などから大幅増加となったものの、非製造業では、前年度の大規模増加の反動もあって減少となったことから、全体では前年度を下回った（全産業前年度比：▲2.1%）。

2019年度は、製造業で前年度の大規模増加の反動などから減少するほか、非製造業で過去に実施した投資の償却負担もあり、新規出店や店舗改装を抑制する動きがみられることから、全体でも減少の計画。

この間、企業からみた生産設備や営業用設備（19/6月短観ベース）は、不足感が強い状態が続いている（生産・営業用設備判断D. I. <「過剰」-「不足」>、19/3月：▲4→19/6月：▲1）。

### **個人消費は、持ち直している。**

大型小売店<sup>1</sup>の販売動向をみると、持ち直している。コンビニエンスストア売上高は、基調としては前年を上回って推移している。家電量販店販売額は、持ち直している。乗用車新車登録台数は、緩やかに増加している(19/7月前年比: +8.1%)。また、旅行取扱高は、大型連休の反動による一時的な押下げがみられるものの、基調としては増加している。

— なお、7月については、雨天日数の大幅な増加などから一時的な下押しがみられた。一方、足もとにかけては、耐久消費財や日用品の一部において、前回消費増税時と比較すると小幅ながら、駆け込み需要がみられている。

### **観光は、基調としては持ち直している。**

県内の主要観光施設への入込客数 (19/7月前年比: +5.7% <速報値>) や 主要旅館・ホテルの宿泊客数 (同: +12.9%) は、前年を上回った。

### **住宅投資は、基調としては増加している。**

新設住宅着工戸数をみると、分譲は前年を上回ったものの、貸家を中心に全体では前年を下回った(19/7月前年比: ▲2.5%)。

## **2. 生産**

### **製造業の生産は、横ばい圏内の動きとなっている。**

機械は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては増加傾向にある。食料品は、横ばい圏内で推移している。窯業・土石製品は、一部に弱めの動きが続いているものの、全体としては下げ止まっている。パルプ・紙・紙加工品は、海外向け製品を中心に減少している。鉄鋼は、高めの水準ながらも、横ばい圏内で推移している。

## **3. 雇用・所得**

### **労働需給は、引き締まり傾向にある。**

有効求人倍率は、高い水準にある(19/7月: 1.32倍)。常用労働者数は、前年を上回った(19/6月前年比: +2.0% <速報値>)。この間、企業からみた雇用人員(19/6月短観ベース)は、不足感が根強い状態が続いている(雇用人員判断D.I. <「過剰」－「不足」>、19/3月: ▲33→19/6月: ▲30)。

### **雇用者所得は、緩やかな増加基調にある。**

1人当りの現金給与総額は、サンプル替えの影響を除けば緩やかな上昇基調にある(19/6月前年比: +5.4% <速報値>)。こうしたもとで、常用労働者数と1人当りの現金給与総額の積として表される雇用者所得は、緩やかな増加基調にある。

<sup>1</sup> 県内の百貨店、ショッピングセンター、スーパー等。

#### 4. 物価

消費者物価の前年比は、0%台後半となっている。

消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、家具・家事用品などが前年を上回ったことから、0%台後半となった（19/7月前年比：+0.7%）。

#### 5. 企業倒産

企業倒産は、低めの水準で推移している（19/8月：倒産件数4件<前年3件>、負債総額316百万円<同169百万円>）。

#### 6. 金融

実質預金（銀行、信金、信組）は、個人預金や法人預金の増加から、前年を上回っている（19/7月末残前年比：+2.1%）。

貸出（同）は、地公体向けや個人向けを中心に前年を上回っている（同：+2.0%）。

貸出約定平均金利（銀行）は、低下している（19/7月：1.349%）。

以 上

---

#### 【本文中の使用計数などの出所】

- ・乗用車新車登録台数：四国運輸局「自動車保有台数と販売状況速報」、主要観光施設への入込客数：高知県「月別観光施設利用実績」、新設住宅着工戸数：国土交通省「建築着工統計調査報告」、公共工事請負金額：西日本建設業保証株式会社「高知県内の公共工事動向」、有効求人倍率：厚生労働省「一般職業紹介状況」、常用労働者数・現金給与総額・雇用者所得：高知県「毎月勤労統計調査地方調査」、消費者物価（高知市、生鮮食品を除く総合）：総務省「消費者物価指数」、企業倒産：東京商工リサーチ「倒産月報」。
- ・その他の項目は、日本銀行高知支店が個別に収集したもの。
- ・なお、利用統計は公表月によって異なる。